

米里親施設は、子供セックス取引を隠す手段であることが

## 暴露

アメリカは里親施設を、性取引パイプラインを隠すのに利用している

【訳者注】これとよく似た記事を前にも載せた。この悲惨な話が、現実に行っているという証拠になるだろう。<http://www.dcsociety.org/2012/info2012/171022.pdf> 州も連邦国家も、わかっていて放置しているのだから、これは国家犯罪というべきであろう。政治や宗教界のトップが、ペドフィリアや子供取引をやってみせるのだから、それが下々に及ぶのは当然だろう。トップが腐れば全体が腐る。ワクチン接種など、弱い立場の者が食べ物になる国家犯罪と同じく、この場合も、誘拐されて助けを求める子供が食べ物になっている。こういうことは、良心も想像力も完全に麻痺した「文化」の中でしか起こらない。主流メディアも政府も、そんなことは存在しないかのように振舞うのも、当然であろう。

Daniel Newton, [www.neonnettle.com](http://www.neonnettle.com)

May 21, 2018



子供性取引は昔からはびこっていたが、インターネットが始まって以来、この問題のスケールの大きさがますます明らかになりつつある。

ほとんどの人が理解していないことは、アメリカが、里親制度を、性取引のパイプラインを隠す手段として利用していて、その実態が、いかにショッキングかということである。

「行方不明および子供搾取全国センター」(NCMEC)の調査によると、「2016年にNCMECに報告された、1万8,500名以上の、失踪し危険状態にある者たちの、6人に1人が、子供セックス取引の犠牲者となった疑いがある。これらのうち86%が、彼らがいなくなったとき、社会サービス施設の中にいた。」

子供取引を取り締まる、法執行機関の努力の結果は、一貫して、NCMECの見積もりを支持している。2013年のFBIの、70都市全国捜査では、犠牲者の60%が、里親施設または集団ホームから来ていた。

2014年には、ニューヨークの官憲が、セックス取引犠牲者の85パーセントが、子供福祉システムから来ていると推計した。

Wake Up World はこう報告している：——そうだ、子どもたちはドラッグを飲まされて、誘拐され、現実の売春あっせん業者の手で売られている。それをしっかり頭に入れていたきたい。<https://wakeup-world.com/2018/05/18/evidence-suggests-americas-foster-care-system-is-a-front-for-child-sex-trafficking/>

現実の問題として、この問題に目をつぶっても無視しても、それはなくなることはないことだ——どんなにそう願っても。

悲痛なのは、州によって保護されるべきこれらの子供が、最も苦しんでいることである——あたかも、この腐敗した制度の下で、彼らの苦しみが、それでは足りないかのように。

悲しいことに、このシステムには「子供保護局」が含まれていて、それらは、子どもたちを親から引き離し、彼らを更に厳しい環境に置くことのできる、現実の権能をもっていることである。

我々の制度で腐敗が伴う、ほとんどの場合、その動機を求めれば、お金がついてくる。この場合には、里子は保護者にとって、より利益になる存在であり、あらゆる州は、里子の数が増えるごとに、連邦政府からもらうカネが増える仕組みになっている。

これは確かに利益の衝突であり、おそらく、その動機から、あるいはもっと不気味な動機から、里子保護施設は、子どもたちを性犯罪者に喜んで手放すものとして知られている。

そして驚くなかれ、何百という子供たちが、そう、何百人の子供たちが、毎年、里親施設から消えていなくなる。

法律会社 Cohen Milstein のカウンセラー Michael Dolce は、里親制度と未成年者の性的虐待の間の統計的關係という、この不幸な現象をこう要約している：――

「2012年、コネチカット州警察は、88人の子供をセックス取引から救出した。その86人は、子供福祉システムから来た者だった。

そしてもっと驚くべきことは、FBIは、2014年の国家的な一斉手入力で、11歳の子供を含む多くの里子を、セックス取引業者から救出したが、子供福祉施設の責任者からの、子供の失踪の報告が一つもなかったことだ。」

## なぜ主流メディアは黙っているのか？

読者のある人々には、それは当然であり、別の人々には、それほど当然ではないだろう。しかし彼らが、巨大な隠ぺいのからくりには縛られているのは、確かなのである。

これが重要な問題で、それが現に起こっていることは確かである。しかし、ニュースで、または政府から、それを聞くことがどれどれあるだろうか？

これは確かに考えなければならない問題である。

Dolce は加えてこう言っている：――

「子供たちは絶えず学んでいる。そして彼らを虐待する里親施設や集団ホームの中で、彼らは、自分たちが人間として、本来の自分の価値を持っていないことを学んでいる。

彼らの価値は、彼らを虐待する保護者が、彼らから得るものでしかない――単に、州から支給されるカネだろうと、私の依頼人の何人かのように、セックスのための肉体だろうと。

彼らは、売春あっせん業者次第という条件の下におかれる。彼らは自分のもっているすべてを、食物や、雨風をしのぐ場所のような、基本的な必要物と、引き換えに差し出す。

私の依頼者の一人が言ったように、州の保護の下に長く続いた労働や、性的な虐待のあとで、彼女が18歳を迎え、共同体からの援助も、仕事も、カネもなく、施設を去ったその日、彼女は自分自身を一つの見方でしか見られなかった——「私の両脚の間には金鉞があった」。

——以上